


県政調査計画書

平成29年12月14日

県議会議長 佐藤 光 殿

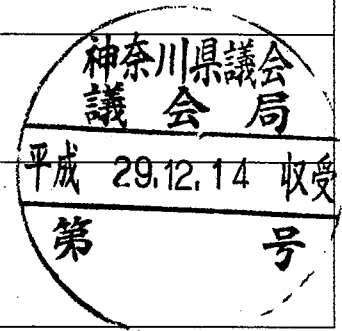
会派名 自由民主党神奈川県議会議員団

団長名 嶋村 ただし 

(署名捺印)

県政調査を次のとおり計画しましたので、よろしくお取り計らいください。

1 調査議員	(調査団長) 河本 文雄 (団 員) 八木大二郎、瀬戸 良雄、山本 哲、 川崎 修平、おざわ良央、綱嶋 洋一
2 調査目的	現在、本県では、ヘルスケア・ニューフロンティアの推進に向けた海外戦略が精力的に展開されている。 イギリスは、ヘルスケア分野の研究・産業化について、官民を挙げて精力的に取り組んでおり、本県の施策を推進していく上でも関りが深い。 今回の調査では、ロンドン周辺に立地しているヘルスケア関連施策推進の要となっている政府関係機関、民間の関係団体等を視察し、本県における施策推進の参考とする。 また、イギリスの欧州連合からの脱退、日本と欧州連合との経済連携協定の大筋合意といった政治・経済面における欧州での動きが近年著しいが、ヨーロッパに進出している本県企業もこういった動きの中で、海外戦略の見直しを迫られる状況となっている。 そこでジェットロバリ事務所、フランス進出県内企業を訪問し、欧州を巡る一連の状況の変化が本県企業をはじめとする日本企業に与える影響や今後の対応等について聴取し、今後の県内企業の海外展開支援に向けた参考とする。
3 調査期間	平成30年3月26日～3月30日
4 調査地	イギリス、フランス



<p>5 調査項目</p>	<p>(1) 英国公衆衛生庁 イギリス保健省の独立執行機関として、公衆衛生に係る研究開発、政策提言、普及啓発等を所管する団体であり、国民の健康づくりに向けた事業の内容や本県との連携の可能性等について聴取し、今後の施策展開の参考とする。</p> <p>(2) メドシティ ロンドン市が主導する、南東イングランド地域において広域的に医療やヘルスケア分野の産業化を推進している団体であり、最先端医療の実用化・産業化に向けた支援等について聴取し、今後の施策展開の参考とする。</p> <p>(3) ガイズ・アンド・セントトーマスNHS財団トラスト イギリスの名門大学「キングスカレッジロンドン」に附属する、同国有数の規模を持つ、歴史と権威のある医療機関であり、ヘルスケアの研究と実証の場として重要な役割を果たしている機関である。ヘルスケア施策を推進する上での医療機関との連携の重要性については、常々議論されているところだが、同機関の取組について聴取し、今後の施策展開の参考とする。また、同機関の名誉コンサルタントであるフィンバーマーティン氏は、今年開催されたME - BYOサミット及び専門家会合に参加している。</p> <p>(4) ジェトロパリ事務所 欧州を巡る政治・経済環境の変化が著しいが、そういった状況を受けての本県企業をはじめとする日本企業の動向等について聴取し、今後の施策展開の参考とする。</p> <p>(5) フランス進出県内企業 実際にフランス進出を果たしている県内企業を訪問し、企業の立場から、欧州を巡る環境の変化についてどのように受け止め、今後どのような経営戦略を展開しようとしているのか聴取し、後の施策展開の参考とする。</p>																																																						
<p>6 経費の概算額 (一人当たり)</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">議員旅費</td> <td style="width: 10%;">.....</td> <td style="width: 10%;">631,200円</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">内訳</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">航空賃</td> <td style="text-align: right;">500,900円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">宿泊費</td> <td style="text-align: right;">87,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">日当</td> <td style="text-align: right;">43,300円</td> </tr> <tr> <td>通訳料</td> <td>.....</td> <td>91,428円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>車借上料</td> <td>.....</td> <td>97,143円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>819,771円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">(調査団議員合計)</td> <td>5,738,397円)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	議員旅費	.....	631,200円							内訳							航空賃	500,900円					宿泊費	87,000円					日当	43,300円	通訳料	.....	91,428円				車借上料	.....	97,143円				合計		819,771円				(調査団議員合計)		5,738,397円)			
議員旅費	.....	631,200円																																																					
			内訳																																																				
				航空賃	500,900円																																																		
				宿泊費	87,000円																																																		
				日当	43,300円																																																		
通訳料	.....	91,428円																																																					
車借上料	.....	97,143円																																																					
合計		819,771円																																																					
(調査団議員合計)		5,738,397円)																																																					

\* 日程表を添付する。

## 県政調査日程表

月日(曜)	調査地	現地時間	交通機関 (所要時間)	調査箇所及び調査内容
3/26 (月)		午前 午後	飛行機 (12.5H)	(羽田空港～ロンドン・ヒースロー空港)  <ロンドン泊>
3/27 (火)	ロンドン	午前	バス	視察1「英国公衆衛生庁(予定)」 ・概要説明聴取 10:00～11:30
	ロンドン	午後	バス	視察2「メドシティ(予定)」 ・概要説明聴取、視察 14:00～15:30  <ロンドン泊>
3/28 (水)	ロンドン	午前	バス	視察3「ガイズ・アンド・セントトーマスNHS財団トラスト(予定)」 ・概要説明聴取、視察 10:00～11:30
	ロンドン	午後	鉄道 (2.5H)	(セントパンクラス駅(ロンドン)～パリ南駅(パリ)) <パリ泊>
3/29 (木)	パリ	午前	バス	視察4「ジェトロパリ事務所(予定)」 ・概要説明聴取10:00～11:30
	パリ	午後	バス	視察5「フランス進出県内企業(アマダ・ヨーロッパSA)(予定)」 ・概要説明聴取15:00～16:30
		午後	飛行機 (12.0H)	(パリ・シャルル・ドゴール空港～羽田空港)  <機中泊>
3/30 (金)		午後		羽田空港着

## 県政調査計画審査結果

県政調査計画について審査したところ、結果は次のとおりでした。

調査実施議員名	(調査団長)河本 文雄 (団 員)八木大二郎、瀬戸 良雄、山本 哲、川崎 修平、おざわ良央、 綱嶋 洋一
---------	--

## 1 要領2(1)の基準への適否

区 分	調査の基準	計画の内容	適否
調 査 経 費	議員1人当たり100万円以内	議員1人当たりの経費は819,771円であり、基準を満たしている。	適
調 査 箇 所	1日につき午前及び午後それぞれ1箇所以上調査実施 移動日は1箇所以上調査実施	移動日について1箇所以上、それ以外の日について午前及び午後それぞれ1箇所以上調査を実施する行程となっている。	適

## 2 調査計画に対する審査所見

区 分	所 見
調査の実施が県政課題解決の一助となるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルスケア事業の推進のためには、県のみならず国との密接な連携が不可欠であることから、英国政府の執行機関としてヘルスケア施策を所管している英国公衆衛生庁を視察することは、今後の施策展開について助言を与える一助となる。 また、ヘルスケア事業推進のためには、行政の取組を補完する関連団体の存在も不可欠だが、メドシティは、この分野において顕著な実績を残しており、この団体を視察することは、ヘルスケア事業推進ための視野を広めるための一助となる。 さらに、ヘルスケア事業推進のための医療機関との連携の強化の必要性については、常々議論されているところであり、ガイズ・アンド・セントトーマスNHS財団トラストを視察することは、今後の施策展開について助言を与える一助となる。</li> <li>県内の多くの企業が規模の大小を問わず海外進出を果たしており、ヨーロッパにも多くの企業が進出しているが、近年の欧州の政治・経済、社会面での変容は著しいものがあり、本県からの欧州進出企業も少なからず影響を受けていると考えられ、実際に現地を訪問し、生の声を聴取することは、今後の施策展開について助言を与える一助となる。</li> </ul>

区 分	所 見
<p>調査の実施時期が時宜を得たものか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヘルスケア関連施策は、本県における重要施策であり、多くの予算を投入して推進していることから、事業の内容・進行状況について適宜チェックし、適切な助言を与えることは重要である。 ヘルスケア関連施策については、今後とも、積極的な事業展開が想定されることから、今回欧州において調査を実施し、知見を広げることが、時宜を得たものである。</li> <li>・ イギリスの欧州連合からの離脱、日本と欧州連合との経済連携協定の締結といった動きは、すでに時間の問題であることから、この時期に欧州において調査を実施し、県内企業の現状を把握しておくことは、今後、本県企業による海外進出を支援する事業等を評価する上で重要であり、時宜を得たものである。</li> </ul>
<p>現地に赴かなければ調査目的が達成できないものか。</p>	<p>それぞれの分野について、今後の本県における取組の評価に活かしていくためには、直接現地に赴き、現場関係者から事業内容や成果、今後の方針等について、具体的かつ詳細に聴取しなければ調査目的が達成できないものである。</p>
<p>調査箇所、行程、経費等は妥当なものか。</p>	<p>調査箇所、行程、経費等は県政調査実施要領の基準を満たしており、妥当である。</p>